

第 58 回臨床ウイルス学会総会議事録

平成 29 年 5 月 27 日 長崎大学 良順記念会館

学会長 森内浩幸会長により議事進行された。

1. 学会長挨拶 森内浩幸会長

学会のテーマ「国境を終える、宿主を越える、世代を越える」が説明された。

2. 庶務報告； 総務幹事 中山哲夫

2-1 会員数 平成 27 年度会員数 669 名 (名誉会員 1 名)

平成 28 年新入会員 36 名、退会会員 56 名、会費未納退会(3 年間会費未納)23 名、
行方不明会員 11 名、

賛助会員 12 社 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

2-2 学術集会の開催

* 第 57 回日本臨床ウイルス学会(平成 28 年度)

会長 細矢 光亮 (福島県立医科大学 教授)

平成 28 年 6 月 18 日(土)・19 日(日) ホテル華の湯

* 第 58 回日本臨床ウイルス学会(平成 29 年度)

会長 森内 浩幸 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻
展開医療科学講座小児科学分野教授)

平成 29 年 5 月 27(土)・28 日(日) 長崎大学 良順会館

2-3 予防接種推進専門協議会に参加

HPV ワクチン再開に向けての要望書

結合型肺炎球菌ワクチンの適応拡大の要望書

風疹ゼロプロジェクト

2-4 学会誌「臨床とウイルス」の発行

44-1：特集 環境の変化とウイルス感染症

44-2：第 57 日本臨床ウイルス学会 抄録集

44-3：特集 エンテロウイルス D68 と関連疾患

44-4：第 57 回日本臨床ウイルス学会 学会特集号

45-1：特集 臨床ウイルス分野の海外協力

2-5 平成28年度 日本臨床ウイルス学会収支報告 (2016年1月1日～12月31日)

収入の部 (単位：円)				
科目	予算額	決算額	増減 (決算-予算)	備考
前年度繰越金	3,331,955	3,331,955	0	
会費	8,600,000	8,140,000	-460,000	
正会員会費	7,300,000	6,940,000	-360,000	
賛助会員費	1,300,000	1,200,000	-100,000	
掲載料	200,000	80,000	-120,000	
広告収入	700,000	401,760	-298,240	福田商店
別売り収入	500,000	316,650	-183,350	
雑収入	110,000	129,259	19,259	著作権使用料、利息
当期収入合計	10,110,000	9,067,669	-1,042,331	
合計	13,441,955	12,399,624	-1,042,331	
支出の部				
科目	予算額	決算額	増減 (決算-予算)	備考
事業費	7,200,000	5,936,038	-1,263,962	
雑誌経費	6,600,000	5,436,038	-1,163,962	44-1～44-5
印刷費	4,500,000	3,980,916	-519,084	
発送費	600,000	358,690	-241,310	
原稿料	1,500,000	996,745	-503,255	
編集経費	0	99,687	99,687	査読・校正等 郵送費
抄録集学会支援	500,000	500,000	0	
若手奨励賞	100,000	0	-100,000	
管理費	1,460,000	1,462,708	2,708	
事務費	160,000	234,341	74,341	会費請求代、手数料
会議費	20,000	900	-19,100	
諸会費	80,000	80,000	0	予防接種推進専門協議会 日本臨床検査標準協議会
業務委託費	1,200,000	1,147,467	-52,533	
当期支出計	8,660,000	7,398,746	-1,261,254	
次期繰越金	4,781,955	5,000,878	218,923	
合計	13,441,955	12,399,624	-1,042,331	
当期収支差額	1,450,000	1,668,923		


監査報告書

日本臨床ウイルス学会平成28年度（2016年度）収支決算報告書を監査した結果、正確妥当なものと認めます。

平成29年3月17日

監事 柴鶴義人 

平成29年3月22日

監事 尾崎隆男 

2-6 平成29年度 日本臨床ウイルス学会 予算案 (2017年1月1日～12月31日)

収入の部 (単位：円)			
科 目	前年度予算額	予算案	備 考
前年度繰越金	3,331,955	5,000,878	
会費	8,600,000	8,100,000	
正会員会費	7,300,000	6,800,000	
賛助会員費	1,300,000	1,300,000	
掲載料	200,000	100,000	
広告収入	700,000	500,000	
別売り収入	500,000	400,000	
雑収入	110,000	110,000	
当期収入合計	10,110,000	9,210,000	
合 計	13,441,955	14,210,878	
支出の部			
科 目	前年度予算額	予算案	備 考
事業費	7,200,000	6,100,000	
雑誌経費	6,600,000	5,500,000	
印刷費	4,500,000	4,000,000	45-1、45-3～5
発送費	600,000	400,000	
原稿料	1,500,000	1,000,000	
編集経費	0	100,000	査読・校正等 費用
抄録集学会支援	500,000	500,000	45-2
若手奨励賞	100,000	100,000	
管理費	1,460,000	1,490,000	
事務費	160,000	200,000	郵送/コピー代、各種 手数料
会議費	20,000	10,000	会議交通費
諸会費	80,000	80,000	
業務委託費	1,200,000	1,200,000	春恒社委託費
当期支出計	8,660,000	7,590,000	
次期繰越金	4,781,955	6,620,878	
合計	13,441,955	14,210,878	
当期収支差額	1,450,000	1,620,000	

2016 年収支決算、2017 年予算案では毎年安定して 160 万程度の黒字が見込まれています。

2-7 役員 次期幹事

役員・幹事 (平成 29 年 6 月－平成 31 年 6 月)

総務幹事：中山 哲夫

常任幹事：庶務 細矢 光亮

編集 田中 智之

会計 皆川 洋子、春恒社

幹事：沼崎 啓、吉川 哲史、奥野 良信、寺田 喜平、牛島 廣治、白木 公康、
堤 裕幸、山田 雅夫、森内 浩幸、竹田 誠、斎藤 昭彦

監事：榮鶴義人、尾崎隆男

臨床とウイルス 編集担当理事：田中 智之

編集委員：尾崎隆男、田中 智之、永淵正法、中山 哲夫、皆川 洋子、森内 浩幸
吉川 哲史、多屋馨子

3. 臨床とウイルス； 田中智之 編集幹事

3-1 45 号の発刊状況とこれからの予定

45-1 国立感染症研究所 竹田 誠 先生 オーガナイズ
特集「臨床ウイルス分野の海外協力」(既刊)

45-2 森内会長 第 58 回ウイルス学会抄録集

45-3 オーガナイザー・JA 静岡厚生病院小児科 田中 敏博先生
「迅速診断キットの現状－その長所・改良すべき点(案)-

45-4 本学会発表での若手奨励賞を含めた学会特集号

45-5 特集号にふさわしい課題を皆様からのご提案待を待っています。

3-2 臨床とウイルス 投稿規定の変更

[1] カラー印刷の件

臨床とウイルス 原稿の投稿規定には

6. 投稿原稿は掲載料が本会において受理された後に掲載するものとする。掲載料は著者に採用を通知した時点における印刷実費に基づき計算して著者に請求する。(刷り上がり 3 頁までは無料、超過 1 頁につき 1 万円、図は 1 枚当たり 5,000 円のトレース代が加算、カラー 1 頁につき 4 万円、特別掲載は無料頁なし、1 頁につき 3 万円

上記となっておりますが、カラー印刷代は請求していません。43、44 号の印刷状況は

	論文 頁	カラー頁数	印刷費用
43 号	306	45 (14.7%)	¥4,128,084
44 号	283	54 (19%)	¥3,842,320

白黒印刷 ¥11,600/頁 カラー頁で+ ¥10,000/頁 となっております。

(1) 依頼原稿の場合； 投稿原稿の規定を改正いたします。

①: 執筆者には事前に、カラー印刷は 2 点(表)までとし、校正の段階で再度確認

する。それ以上は実費徴収(¥5,000/1点)

対象: 発疹の皮膚写真、細胞関係、WB や IC 等の目視的な検査結果などはカラー。それ以外は白黒。

②: 編集委員査読の段階で図表のカラー印刷の必要性をふくめての査読をし、白黒を決める。

(2) 投稿原稿の場合: 依頼原稿と同じルールにする。

[2] 「臨床とウイルス」PubMed に

1) 英文抄録をつけて、PubMed 等で引用されるようにすることの検討。

PubMed citation の手続きを調べました。ハードルは高い。

2) できるだけ英文抄録をつけてもらいたい。英文原稿の校正は?

Native check 費用は 学会事務局負担

[3] 引用文献について

現行は 著者の6名まで:タイトル. 雑誌: ページ、年.

Nakayama T, Kumagai T, Nishimura N, Ozaki T, Okafuji T, Suzuki E, et al.: Seasonal split influenza vaccine induced IgE sensitization against influenza vaccine. Vaccine 33 : 6099-6105, 2015.

Referenceの引用の仕方を関連雑誌で調べてみました。

3名以上は et al. タイトル. 雑誌名 年; 号: 頁 のパターンが多いようですので改訂。

改訂後

Nakayama T, Kumagai T, Nishimura N, et al. Seasonal split influenza vaccine induced IgE sensitization against influenza vaccine. Vaccine 2015; 33:6099-105.

4. 臨床とウイルス ホームページ移設の件

臨床ウイルス学会のホームページは北里生命科学研究所の中に作製し中山研で維持するが、継続性を考えると春恒社に移行してゆくことが望ましい。移設後のイメージを作ってもらって次回の検討事項とする。

5. 若手奨励賞

20件近くの若手奨励賞候補演題から8演題を選考委員会から候補演題として推薦した。発表後審査の結果以下の3名の先生が受賞された。

畑山 一貴 先生 岡山大学 大学院 小児医科学

金子 美穂 先生 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科感染免疫学講座分子疫学分野

橋本慎太郎 先生 熊本県保健環境科学研究所 微生物科学部

6. 日本臨床検査標準協議会 報告 日本臨床検査標準競技会

株式会社 LSI メディエンス 免疫血清検査部 免疫血清グループ 金田 和晃様

より、2018年の活動報告が行われた。

7. 次期会長挨拶

第59回 日本臨床ウイルス学会 次期会長 沼崎 啓 (国際医療福祉大学)
平成30年6月9日(土)、10日(日)
大宮ソニックシティ (埼玉県大宮駅前)

8. 臨床とウイルス増刊号 ウイルス検査法 改訂版の発行企画；

1995年に「臨床とウイルス」増刊号としてウイルス検査法を発刊しております。20年の間には感染症も変化し、新興感染症の出現、新たなウイルス検査法も導入されてきました。ウイルス検査を臨床に役立ていただくためにどのように検査が行われているのか検査法を理解していただくために「ウイルス検査法」の改訂版の発刊を企画し来年発刊を目指しております。